

令和7年度 第1回 福知山市上下水道事業経営審議会

日時：令和7年5月20日（火） 午後1時30分から午後3時30分
場所：福知山市上下水道部庁舎 3階 301会議室

〔委員〕 (敬称略)	井上直樹	会長・福知山公立大学 教授
	越後信哉	副会長・京都大学大学院地球環境学堂 教授
	松本清香	公募委員（欠席）
	中井政夫	公募委員
	桐村信太郎	福知山商工会議所 中小企業相談所 所長
	衣川浩行	福知山商工会 事務局長
	嵯峨根正和	一般社団法人長田野工業センター 参与
	谷垣 均	福知山市自治会長運営委員連絡協議会 駅前町自治会長
	森田雅子	福知山市連合婦人会 会長
	碓 正登	京都府建設交通部水道政策課 課長
工藤 真	京都府建設交通部下水道政策課 課長	
〔上下水道部〕	神内明宏	福知山市上下水道事業管理者職務代理者（上下水道部長）
	松井美幸	経営総務課長
	井上義信	上下水道部次長兼水道課長
	山本英典	上下水道部次長兼下水道課長
〔事務局〕	志賀 亘	経営総務課課長補佐兼経理係長
	櫻尾篤士	経営総務課経理係主任
	山崎志帆	経営総務課経理係主任
	西村さつき	経営総務課経理係主査
	荒川沙更	経営総務課経理係主事

○新規委員委嘱

櫻尾主任 それでは、まず初めに1名の委員の交代がございましたので、委嘱状の交付を行いたいと思います。

～神内部長から1名（井上氏）に委嘱状を交付～

神内部長 令和7年度第1回上下水道事業経営審議会の開催にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

本日は、お忙しい中、上下水道事業経営審議会に御出席いただき誠にありがとうございます。

また、今回、新たに委員に御就任いただきました井上様におかれましては、本審議会の運営に今後とも御理解御協力いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。

さて、本日は令和7年度上下水道事業予算について、御報告をさせていただきます、委員の皆様方からの活発な御意見や御質問を頂戴したいと考えております。

簡単ではございますが、本日の会議が実りある会議となることを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

○新任委員及び事務局紹介

櫻尾主任 ありがとうございます。はじめに、委員の交代にてお越しになられた委員の方1名をご紹介します。

福知山公立大学 教授 井上 直樹 様でございます。

次に人事異動にて上下水道部に参りました職員を紹介いたします。上下水道部長の神内でございます。

○審議会組織編制

櫻尾主任 続きまして、これまで会長をお世話になっておりました齋藤委員が昨年度をもってご退任されましたので、新たに審議会の会長を決定してまいりたいと存じます。福知山市上下水道事業経営審議会規程第4条第1項の規定におきましては、「審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める。」となっております。委員の皆様、会長の選出につきまして、ご推薦等はございませんでしょうか。

越後委員 齋藤委員の後任である井上委員が適任だと考えます。ご専門も地域や経営に関することであり、また地元の大学の先生ということで、会長を務めていただくのが良いと思います。

櫻尾主任 越後委員から、会長に井上委員の推薦をいただきました。他の委

員の皆様はいかがでしょう。

(異議なし)

櫻尾主任　それでは会長として井上様よろしくお願ひいたします。井上会長は会長席にご移動をお願ひいたします。

就任にあたりまして井上会長より、ご挨拶をいただきたいと存じます。

井上会長　ただいま会長を拝任いたしました井上でございます。今日初めてこちらに来させていただきまして、いきなりこのような大任を務めさせていただくことになりました。最初なので、まだわからないこともたくさんございますが、早く職務を全うできるように努めてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

櫻尾主任　ありがとうございます。それでは、審議会規程の第5条第1項の規定に基づき、井上会長に議長をお願ひし、議事の進行をお任せしたいと存じます。

井上会長　福知山市上下水道事業経営審議会規程第5条第2項の規定のとおり、委員の皆さまの過半数のご出席を賜っておりますので、ただいまから令和7年度第1回福知山市上下水道事業経営審議会を開催させていただきます。

最初の議題に移りまして、令和7年度水道事業下水道事業の会計予算についてです。令和7年度の予算を、前年度の予算との比較を踏まえて報告をお願ひしたいと思っております。報告をいただいた後に委員の皆さまからのご意見を頂戴したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

○令和7年度水道事業会計・下水道事業会計予算について

～志賀補佐 報告～

井上会長　ありがとうございます。ただいまのご説明を受けまして、皆さまからご質問等ございましたらお願ひします。

中井委員 令和7年度の予算について、委託料等の増や費用の増などと資料に記載がありますが、これらは物価スライドを含めた原価上昇と考えたらいいのでしょうか。

志賀補佐 物価上昇ですとか、労務単価の上昇によるものと考えていただければと思います。

嵯峨根委員 企業債で事業費を補填されていると思うのですが、今現在の企業債残高はどのくらいあるのでしょうか。

志賀補佐 水道事業につきましては、令和7年度末の残高が101億8344万8000円、下水道事業の令和7年度末の残高が214億4725万1000円となっております。

嵯峨根委員 長期債の関係で金利が少しずつ上がってきていまして、金利が上がっている分だけ利払いが増えていると、0.1%ぐらい上がると支払はどのくらい増えると想定されていますか。

志賀補佐 一度お調べして、のちほど回答させていただきます。

井上会長 他のご質問に移ります。他にご質問、ご意見ございませんでしょうか。

越後副会長 令和7年度と6年度の予算は資料に書いてあるとおりでと思うのですが、例えば水道の収益的収支の差引のところは令和6年度がプラスだったものが令和7年度は若干マイナスになっていると。これは予測どおりで、令和6年度7年度だけじゃなく、シームレスにつないで見た場合、想定範囲内に収まっているという理解でいいですか。

志賀補佐 想定よりはちょっと早めに赤字が出てしまったというところがございます、想定以上に物価高騰ですとか労務単価の上昇等の影響が出てしまっています。また、給水収益が減ってきている面もあり、予想より早めに赤字が生じてしまうような次第でございます。

井上会長 他の委員の皆さまいかがでしょうか。

志賀補佐 すいません。先ほどご質問いただきました、金利が0.1%程度上がるとどうなるかという件ですが、例えば水道事業会計でしたら、年間でおよそ85万9000円程度支払いが増加する見込でございます。

井上会長 もし他にご質問がなければ次の議題に進ませていただこうと思うのですがよろしいでしょうか。次は、令和7年度の水道事業計画についてでございます。事務局よりご説明をお願いします。

○令和7年度水道事業計画について

～井上次長 報告～

井上会長 ありがとうございます。それでは、委員の皆さまからご質問・ご意見等ありましたらお願いします。

中井委員 老朽管路の更新事業ですけれども、この更新率というのは延長のことですか。

井上次長 全体の延長1,080kmに対して、令和7年度の予定としまして3,200mという延長をベースに算定しています。口径が大きくなると1mあたりのコストがかかってきますので、更新延長が伸びないということになります。

衣川委員 水道事業の概要のところ、先ほど有収率という説明がございましたよね。83.07%ということで、これはあまりよくない数字とおっしゃったのですが、この数字を上げようとするとうどん詰まりが必要なのかと、上がった暁には経営的に何がどう風が変わっていくのかを教えてくださいたいと思います。

井上次長 この数値が100%に近づくということは、作った水が無駄なくメーターを通った水として料金収入として効率的に返ってくるということで、これをできるだけ100%に近づけていきたいと考えて

おります。現在 83%なので、17%が収入を得ていない状態になります。ただ、すべてが無駄という訳ではなくて、例えばフレッシュな水を各家庭に届けるためには、水道管の中を滞留することなく常にどこでも流れている状況にしておかないと塩素が消えてしまう場合があります。福知山市のように、市街地ではあまりそういうことはないですが、山間部へいきますと水の使用量が減りますので、施設はある程度大きさが必要ですが、パイプの中で水が滞留してしまうというところで、水が悪い状態になってしまいますので、これらを防ぐため、常に管の末端で水を垂れ流しにしています。これを捨て水と言っているのですが、常に水が流れるように捨てているというケースがたくさんございます。そういったものは収入には繋がらないのですが、水を水質基準どおりお届けするには必要な水であります。加えて、あと 10%弱程度が漏水であろうと認識しています。今、努力して縮めることができるところが、この漏水の部分ですが、なかなか老朽管の更新というのが思ったように進まないという中で頑張っているというところです。

井上会長 他にございませんようでしたら、次に、令和 7 年度下水道事業計画につきまして事務局よりご報告お願いいたします。

○令和 7 年度下水道事業計画について

～山本次長 報告～

井上会長 ありがとうございます。それでは委員の皆さま方、ご質問、ご意見等ございましたらお願いします。

谷垣委員 4 ページに、令和 7 年度の建設改良費の概要という項目がありまして、(2) ②で浸水被害対策事業未実施の地域における浸水被害軽減を図るということで、下六人部地区と前田地区、土師地区があがっているのですが、それ以外の地区というのはゆくゆく計画・実施されていくものなのかお聞きしたいのですが、いかがでしょうか。

山本次長 現在、浸水対策につきましては、市内法川流域と弘法川流域につきましては概ね工事ができている状況となっております。また、土師地区についても段畑雨水ポンプ場や貯留施設などを築造して

おります。土師地区については少し事業が残っている部分がありますのと、下六人部地区で六人部小学校の付近で、前田地区は福知山高校の少し東側にあります六呂川付近で事業を行っているところです。今後の計画になりますが、雨水管理総合計画の中で優先順位を決め、今後どのようにやっていくか検討していきたいと思っています。

工藤委員 5 ページの 3 つ目の項目で、下水道管路の調査を計画されていて、50 年経過を見越して調査すると書かれているのですが、実際 50 年経過している管路がどのくらいあるのか教えてください。

山本次長 すぐに分かる範囲でお答えさせていただきますと、下水道の管路につきましては 50 年が耐用年数というところで、現在のところ 45 年を経過した時点からカメラ調査や詳細調査を行った上で、必要な箇所につきましては詳細設計をし、50 年を迎える年には工事を実施する流れで進めております。対象管路全体では、約 600 k m といった大きな数字になります。

工藤委員 わかりました。ありがとうございます。今後のことを見越して適切に調査されていて、ストックマネジメント計画に準じて計画的にやられているのだと理解しました。

もうひとつは、質問というよりはコメントになるのですが、同じページの 1 つ目の項目で汚泥処理施設の再構築事業について、何年もかけて整備を続けてこられて、令和 7 年度末に完成予定とあります。この事業は、京都府の立場からしますと、エネルギーの活用や脱炭素化だけでなく、下水処理場から出てくる汚泥を有効に活用する事業ということで、循環型社会といった観点でも非常にいい事業だと思っています。府内の他の市町村でも下水処理場から出てくる汚泥をどのように活用するか課題をお持ちのところもありますので、そういった観点からも非常に参考になる事業だと思っています。今年度整備が終わるとのことですので、うまくいくことを期待しております。

越後副会長 10 ページの真ん中の写真にある水管橋の耐震補強工事について、下水道の水管橋というのは割と一般的にあるものですか。福知山市であれば何個ぐらいあるのでしょうか。私が思っていたのは、

下をくぐっていたりするのかと思っていたのですが。

山本次長　すべての数をすぐに申し上げられないのですが、JRの山陰本線で土師川を京都方面に渡っていると左側に段畑雨水ポンプ場が見える近くになりますが、下水道の水管橋があります。現在再塗装を行い、工事が完了したところです。それ以外の大きな幹線は、単独橋になりますが、土にJRをまたいでいるところがあります。それ以外のほとんどが地下に埋設している状況です。ただいま数の確認がとれましたので報告しますと、公共下水道で4つ、特環で4つということでございます。

井上会長　他にはいかがでしょうか。特にございませんでしたら、次の議題に移らせていただきます。では、その他の説明を事務局よりお願いします。

○その他について

～松井課長　報告～

井上会長　ありがとうございました。今回は、今ご説明があったとおり、次回の頭出しといたしますか、そういう状況でございますけども、今日の段階で、もしご質問とかご意見ございましたらお願いします。

中井委員　直接、今の手数料の件ではないのですけれども、そういうお話が出てくるということは、なかなか経営状況がきついのだなということで、福知山市の経営戦略においても、令和元年の計画では平成29年の料金改定直後でもあり、令和14年くらいまで黒字を保てる見込みでしたが、令和5年度の計画改定では令和9年度くらいまで、令和10年度には赤字になる可能性がありますという前提でした。そして先ほどのお話を聞かせていただくと、もうすでに令和7年度の予算で赤字になるという、非常に切羽詰まった状況になってきている中で、こういう経営改善の話も出てきているのだと思うんです。経営戦略どおりの令和9年度であっても、本当にあと2年後のことですので、例えば料金改定をするのであれば、当然市民の方に説明会等を開くなどの機会を設けないといけなんでしょうし、市民の理解を得るために現在の状況を説明する必要があると考えます。

井上会長　他に質問がなければ、本日の内容については以上となります。閉会にあたりまして越後副会長よりご挨拶をいただきます。

○閉会及び閉会あいさつ

越後副会長　委員の皆さま、上下水道部の皆さま、長時間お疲れ様でした。先ほど会議の中でもありましたけども、最近水道でも下水道でも管路の事故が報道されるようになって、4月の終わりには京都市内でありましたし、ちょっと前には埼玉県で大規模な事故があったということで、なかなか上下水道などのインフラを維持していくのが難しい時代に差し掛かっているというのを、そういった報道などで感じています。今日のデータでも管路の更新率が0.4%ということで、全部入れ替えるには250年かかるというなかなか厳しい状況です。しかしながら、難しいのは40年50年たったら必ず壊れるかといえばそうでもないんです。なので、我々としては上下水道部の皆さんに、問題が起きそうな場所に目星をつけて、上手に、よりスマートに管理をしていただくようお願いしていくしかないのですが、なかなか難しい状況ということが、今日も共有できたのかなと思います。この審議会は、今日最後に諮問の話も出てきましたが、そういったことを審議するという面もありますが、市民と上下水道部の皆さんとのコミュニケーションのツールでもあると思いますので、そういった厳しい状況ではありますが、井上先生を新しい会長にお迎えしたことでもありますし、気持ちを新たに活発な議論を続けていけたらと思っています。今日はどうもお疲れ様でした。

井上会長　ありがとうございました。それでは次回の予定ですが、8月下旬に開催したいと考えておりますので、ご出席をよろしく願いいたします。

それではこれで令和7年度第1回福知山市上下水道事業経営審議会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。